

千島連盟別海町支部・青年部通信 No.62

2014(平成26).1.15 発行

ご挨拶

謹賀新年。会員の皆様はじめ関係各位には日頃のご協力に深く感謝を申し上げます。

さて日露首脳会談については、昨年4月のモスクワ以降、6月、9月、10月7日のインドネシア APEC 首脳会議における会談まで4回と政権交代後、頻繁に行われております。

また11月2日には異例ともいえる初の日露外務・防衛閣僚協議（「2+2」）が開催されるなど活発な協議が行われ、秋にはプーチン大統領の訪日も予定されておりますが、北方領土の具体的議論は今後の展開を待つ状況です。

来年は戦後70年の節目の年を迎えますが、当時の四島を知る生き証人ともいふべき元島民の減少は深刻な状況にあります。今後より世論に訴えるためには会員皆様の一層のご理解ご協力とともに、運動を担う後継者の加入促進・育成が喫緊の課題です。

新たな啓発事業にも取り組んでまいりたいと存じますので、どうぞ皆様には健康に留意されましてこれまで以上のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支部長 白田

北方領土返還運動全国強調月間

『ふゆとぴあ 北方領土クイズ大会』

2月2日(日) ※荒天中止

農村広場ふゆとぴあ会場～

10:00～13:00 署名活動

11:20～11:50 北方領土クイズ

【地場産の賞品を用意】

役員以外の方も、準備等ぜひご協力をお願い

いたします。あたたかい服装で会場へお越しください。



2月7日「北方領土の日」根室管内住民大会

■元島民関係者に限らず、地域の方お誘いあわせご参加ください。

【日時・会場】平成26年2月7日(金) 12:00～15:25 根室市総合文化会館

【参加申込】1月20日までに推進員秋庭へご連絡ください。

(TEL 0153-75-2148、ファックス 0153-75-0457)

【内 容】①住民大会式典、北方領土返還の叫び 12:00～

②中学生弁論大会 13:00～、③アトラクション(演芸) 14:00～

【バス運行】㊦役場 9:30発→ 本別海地域センター9:50発→

休憩(道の駅)→ 根室 11:10着(※昼食あり)

㊧根室 15:40発→ 奥行16:20→ 本別海地域16:55→ 役場 17:15着

*申込の際にバス利用の有無と乗車場所をお知らせください。(10分前集合)

※お知らせ

『北方領土返還要求別海町民大会』は、別海町白鳥まつりが中止となったことから、今年度開催を見送ることを決定いたしましたのでご了承がいきます。

融資相談会のお知らせ

北対協による相談会（個別相談）が根室市で開催されます。

借入、資格の承継等ぜひご相談ください。いずれも9:00～17:00の時間帯です。

修学資金の借り入れを希望される場合は、事前に借入資格の有無を確認しましょう。

【日程】平成26年1月22(水)23日(木) 9:00～17:00まで 千島会館(根室市)

※問合せ・相談は、(独)北方領土問題対策協会札幌事務所

(フリーダイヤル 0120-404-251、又は支部啓発推進員へ)

これまでの日露首脳会談等の主な内容（外務省会談概要より抜粋）

これまでの政府間の動きを整理します。

<9月5日、G20首脳会合訪問中のロシア・サンクトペテルブルク、安倍総理・プーチン大統領>

日露間の政治対話

11月1～2日にラヴロフ外相が訪日すること、及び、時期を合わせてショイグ国防相も訪日し、外務・防衛閣僚級「2+2」を開催することにつき一致した。

安全保障分野の協力

安倍総理から、「2+2」は安全保障分野での両国の信頼関係向上とより強固な協力の構築に向けた重要な一里塚である旨述べ、プーチン大統領も、「2+2」の開催を歓迎した。安倍総理から、「2+2」では、地域の安全保障情勢認識や各々の安全保障政策についての意見交換に加え、安全保障・防衛分野での新たな具体的協力についても議論することを提案し、プーチン大統領の賛同を得た。

経済分野の協力

プーチン大統領から、二国間の貿易経済関係は順調に進展しており、世界経済が減速する中で両国間では今年も貿易額が増加しているなど、様々な分野で協力が進展している旨述べたのに対し、安倍総理から、4月の訪露以降、エネルギー、都市環境、極東開発、農業、医療等幅広い分野において両国経済関係が着実に進展していることを歓迎し、特に都市環境分野や医療分野の具体的協力に言及した。その際、我が国の先進的な医療設備をロシアの病院に紹介するなどトップセールスも行った。

平和条約締結問題

両首脳は、既に行われている日露次官級協議を今後もしっかり進めること、特に、友好的で、静かで、落ち着いた雰囲気での話し合いを進展させることを確認した。

シリア情勢(略)

<10月7日、APEC首脳会議訪問中のインドネシア、安倍総理・プーチン大統領>

政治対話

プーチン大統領から、11月のラヴロフ外相・ショイグ国防相訪日の際にいよいよ「2+2」がスタートする旨言及。安倍総理から、「2+2」は、安全保障分野を中心に協力を深化させ、日露関係に厚みを持たせる絶好の機会である、実りある「2+2」とするよう双方外務・防衛両大臣に指示したい旨述べ、プーチン大統領も賛同した。

人的交流

・プーチン大統領から、人的交流の拡大、特に日本におけるロシア文化フェスティバル、学長、学生の交流の進展、下村文科大臣による交流拡大のイニシアティブ等に触れた。

・これに対して安倍総理から、人的交流は日露関係発展のための重要な鍵の一つであり、若い世代に重点を置いて交流を拡大したい旨述べ、現在、日本で学ぶロシアからの留学生は約300人、ロシアで学ぶ日本人留学生は約100人とどまっていることを指摘した上で、2020年までにそれぞれ5倍に増やすことを目指したい旨述べた。また、留学のインセンティブを高めるべく、日露大学間の単位互換・学位取得等を含む協力を支援したい、近くモスクワで行われる日露学長会議の機会も使って双方で知恵を出し合い協力したい旨述べた。これに対してプーチン大統領は大きくうなずいていた。

・4月の総理訪露の際に一致した2014年を「日露武道交流年」とすることについて、プーチン大統領から、日本においてロシアのサンボが普及することを期待する旨述べた。安倍総理から、精神的な営みである武道を通じて両国民の相互理解を深めるものであり、柔道、合気道、空手、サンボの交流など、充実したものになりたい旨述べた。また、2014年秋に予定されている日本武道館代表団のロシア派遣が大きな目玉となることを述べ、その演武会にプーチン大統領を招待した。

・プーチン大統領から、2月のソチ・オリンピックに安倍総理をお迎えしたいとの招待があり、安倍総理は、ご招待に感謝する、国会開会中なのでしっかり検討したいと応答した。

日露経済関係

・プーチン大統領から、両国間の貿易高は本年前半7.2%増加し、日本の対露投資総額も増加している旨指摘しつつ、エネルギー、交通インフラ、農業、医療等各分野における協力の進展について詳しく言及があった。

・安倍総理からは、科学技術分野の協力を言及し、8月の下村文科大臣の訪露を踏まえ、高速炉研究や北極研究、宇宙分野等様々な分野の協力を推進するよう指示を出すことを提案し、プーチン大統領から賛同を得た。

平和条約締結問題

平和条約締結問題については、G20の際の首脳会談における議論を踏まえ、今後の交渉につき意見交換を行った。特に、安倍総理から、次回の次官級協議をできるだけ早く開催すべきとの考えを伝えたところ、プーチン大統領から、11月のラヴロフ外相訪日の際に議論してはどうかとの話があった。

<11月1日、訪日中のラヴロフ・ロシア外務大臣と岸田外務大臣>

両大臣の会談は4月のロンドンG8外相会合の際の会談以来2回目。また、この機会に両大臣間で2014年－2015年の日露外務省間の協議計画の署名が行われた。

日露関係全般

- ・岸田大臣から、4月の外相会談での率直かつ真剣な議論が総理訪露の準備として重要な役割を果たし、最終的に日露首脳による共同声明に結実したことを想起しつつ、4月の安倍総理の訪露以降、今次「2+2」開催を含む安全保障、経済、人的交流等幅広い分野で協力が進展していることに言及した。
- ・また、岸田大臣から、プーチン大統領が、バリAPECの際の記者会見の場でこういった日露関係の発展が、「平和条約を夢見るだけでなく、それに向けた実際の作業を行うための条件を創り出している」と述べられたことに触れ、両外相が、平和条約締結交渉を始めとする広範な分野での日露関係発展をリードすべきことを指摘した。
- ・ラヴロフ外相からは、日本との広範な関係発展はロシア外交のプライオリティの1つであり、首脳間の合意の実現がテンポ良く進んでいることを歓迎する旨述べた。

今後の政治対話

ラヴロフ外相から岸田大臣のモスクワ訪問の招待があり、来年春を目途に岸田大臣が訪露し、ラヴロフ外相との会談を行う方向で調整することで一致した。

平和条約締結交渉

パリ APEC の際、首脳会談における議論を踏まえて、今後の交渉につき意見交換を行い、来年 1 月末又は 2 月初めに次回の次官級協議を開催することで一致した。

経済

- ・岸田大臣から、4 月の総理訪露以降、日露経済関係の機運が目に見えて上昇しており、エネルギー、医療、農業、都市環境等の幅広い分野で多数のプロジェクトが進んでいる旨述べ、ラヴロフ外相も、経済関係の進展を歓迎した。
- ・両大臣は、日本企業による対露進出拡大の機運を更に高めるため、労働許可、滞在登録等の「一時的労働行為に関する手続」を改善するための協定の締結交渉を開始することで一致した。
- ・さらに、岸田大臣から、農水産物の輸入規制緩和につき要請し、ラヴロフ外相はロシア側における検討状況を説明した。

人的交流(略)

その他

ロシア側から、次回の「2+2」について来年モスクワで開催するとの提案があり、双方の都合のよい時期にモスクワで開催するよう、外交ルートで調整されることとなった。

関係者との意見交換・懇談会の予定

- | | | | |
|-------|--------------------|------|------------|
| 9/25 | 衆議員北方特別委員会との懇談会 | 中標津町 | 臼田支部長、白崎部長 |
| 11/9 | 後藤田正純内閣府副大臣との懇談会 | 根室市 | 臼田支部長、白崎部長 |
| 11/16 | 自民党政調会研修会 | 根室市 | 白崎部長 |
| 11/18 | 道議会北方対策特別委員会との意見交換 | 羅臼町 | 臼田支部長、白崎部長 |
| 12/17 | 参議院特別委員会との懇談会 | 根室市 | 臼田支部長、白崎部長 |

これからの後継者活動

- | | | | |
|------|--------|------|-----------------------------|
| 1/21 | 青連協理事会 | 中標津町 | 来年度の事業について協議ほか |
| 2/10 | 後継者研修会 | 札幌市 | 白崎青連協会長、上月青連協事務局長、荒木さん、和田さん |

あとがき

★少し長くなりましたが、これまでの日露会談の概要を引用しました。会談内容には色々な見方がありますが、北方領土問題を一番の議題にのせるまで途切れない交渉をのぞみます。

11月以降意見交換・懇談会、アピール行動と続き、支部長・青年部長にも忙しい日が続きました。

12月18日には支部青年部合同の役員会を開催し、次年度事業の検討を行いました。

長年の地道な活動が一日も早く実を結びますよう願うばかりです。年が明け厳しい寒波がやってきました。風邪と交通安全には十分ご留意ください。本年もよろしく願いいたします。(A)